

JGTO キッズゴルフ
応援プロジェクト

supported by

RICHARD MILLE
RMJAPAN
Foundation

第18回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 西郷村 大会レポート

2021年7月17日(土曜日) グランディ那須白河ゴルフクラブ NASU コース(福島県西郷村)



- ◇ 昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止を余儀なくされたスナッグゴルフ全国大会だったが、復活開催の今年は天候に恵まれて実施された。
- ◇ 北海道から静岡県までの 21 校 110 名が参加。選手・引率・応援・ボランティア等を含めた総勢約 450 名が来場。都道府県予選会は 7 地区で実施。選手 2 名が熱中症の症状によりスタート前に棄権したが、平熱だったため他の選手への影響は無いと判断して試合を開始。
- ◇ 万全な感染症対策を講じての復活開催は、東日本と西日本に分割しての開催となり、夏の全国大会は東日本大震災の復興支援の一環として、福島県西郷村にある、グランディ那須白河ゴルフクラブ NASU コースで行われた。

【新型コロナウイルス感染症対策】
【健康チェックシート】
- ◇ 感染症が都心で再拡大の状況だったが、「スポーツ庁からの通達により運動時は熱中症対策としてマスクの着用は必要ないが、プレー中のマスクの着用については各学校各保護者の指導に従う」という取り決めのもとで、プロはプレー中とステージ上で濃厚接触の無い場面でマスクを外して出演。



- ◇ ジャパンゴルフツアー選手会の協力により、宮里優作プロをキャプテンに、貞方章男プロ、内藤寛太郎プロ、額賀辰徳プロ、大槻智春プロ、堀川未来夢プロが、JGTO ドリームチームとして参戦。子どもたちと、同じクラブ、同じボール、同じ距離でガチンコ対決。



- ◇ キャプテン宮里優作プロは、大会直前に自ら、アフロヘアーを購入して準備し、開会式での盛り上げに一役買って頂いた。



- ◇ 大会運営は、地元・西郷村内 5 校のスナッグゴルフ練習や活動をサポートする、西の郷スポーツクラブが運営ボランティア 65 名を招集し、受付や選手輸送、スコアラー業務、カレーライスの提供、コース設営や撤収にご尽力いただいた。



- ◇ 開会式での選手宣誓は、前回大会の準優勝校・茨城県常陸大宮市立大宮小学校6年の佐久間大魁(さくま・たいが)くんが務め、白河高原に響き渡るたくましい声で宣誓し開会。



- ◇ JGTO ドリームチームには、福島県予選会から全国大会への出場が叶わなかった児童が、「キッズキャディ」として、プロゴルファーをサポートする形で全国大会に参加した。





◇ 宮里優作プロをキャプテンとしたドリームチームのプロの皆さんは、プレー中もプレー外でも、子どもたちとの交流を自ら図って頂き、子どもたちの期待に応えるファンサービスに徹して頂いた。





- ◇ 競技は、前評判の高い、茨城県笠間市と常陸大宮市との激戦が繰り広げられ、ジュニアゴルファーの聖地で、今年 9 月には JLPGA ツアー公式戦・日本女子プロゴルフ選手権大会・コニカミノルタ杯が開催される、静ヒルズカントリークラブで練習を重ねてきた、常陸大宮市立大宮小学校が初優勝。男子国内メジャー・日本ゴルフツアー選手権 森ビルカップ Shishido Hills が開催されている、宍戸ヒルズカントリークラブでの練習で磨きをかけてきた、笠間市立北川根小学校が 3 位。長嶋茂雄インビテーションショナル・セガサミーカップと連携した活動校、千歳市立千歳第二小学校が 2 位に食い込んだ。



- ◇ スタート後には、来賓及び関係団体による「アフタヌーンティ」を開催し、感染対策を講じて、お食事・軽食無しお飲み物だけの懇談会を実施し、ジュニア育成をテーマに意見交換を行った。



- ◇ 大会翌日には、社会学習見学として、福島県環境創造センター「コミュタンふくしま」を社会学習見学し、福島県における東日本大震災からの復興について学んだ。



- ◇ 『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リサーチミル基金』第 18 回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 三木市は、11 月 20 日(日曜日)に兵庫県三木市の三木ゴルフ倶楽部で開催される。
- ◇ 全国大会の様子は、YouTube にて、12 月下旬に放送予定。

●JGTO オフィシャルホームページ掲載記事

2年ぶりの開催！第18回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会

<https://www.jgto.org/pc/OtherTopicsDetail.do?year=2021&tournaKbnCd=0&conferenceCd=000&languageKbn=0&administerNo=852>

第 18 回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 西郷村、優勝は茨城県の常陸大宮市立大宮小学校。7 月 17 日(土)に福島県のグランディ那須白河ゴルフクラブを舞台に、『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リサーチミル基金』第 18 回『スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 西郷村』を開催。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で大会は中止を余儀なくされたが、今年は十分な感染防止対策を講じて2年ぶりとなる開催が実現した。





また、今年は東日本大会(福島県西郷村)と11月20日(土)に開催される西日本大会(兵庫県三木市)という2回に分けた形式で実施される。

今回の東日本大会には21校108名が出場。大会当日、福島県内は各所で30度を超える気候となり、会場も真夏を思わせるかなりの暑さとなった。そんな中でスナッグキッズ達は元気いっぱいにハツツなプレーを披露。日頃の練習の成果を思う存分発揮してくれました。

競技は9ホール(507ヤード・パー36)で行われ、各チームの上位3人の合計スコアで競われる。

優勝したのは76ストロークで常陸大宮市立大宮小学校(茨城県)。

3ストローク差の2位には千歳市立千歳第二小学校(北海道)、3位には笠間市立北川根小学校(茨城県)が入りました。

常陸大宮市立大宮小学校は7年連続7回目の出場という常連校。表彰式では2019年大会で2位に終わった雪辱を晴らすことができた喜びをキャプテンの佐久間大魁(たいが)さんが伝えました。

「2年前は準優勝で今年は2位と3打差で勝ててよかったです。6年生の3人が24、26、26を出してくれたので優勝できたんだと思います。皆さん今日はありがとうございました。」

また、今大会もJGTOドリームチームを結成してスナッグキッズ達に混じって真剣勝負を繰り広げた。

今年のメンバーはキャプテンの宮里優作をはじめ、貞方章男、内藤寛太郎、額賀辰徳、大槻智春、堀川未来夢という豪華な面々が集結。額賀以外の5人は初出場でスナッグゴルフ初体験ということもあり、スタート前の練習では入念に感触をチェックしながら、経験者の額賀にコツを聞くなど準備を整えて挑んだ。

結果は72ストロークでプロのプライドを見せつける形となった。中でも額賀は23ストローク13アンダーをマークして経験者としての意地を見せた。



<<選手コメント>>

◆宮里優作

「今日は楽しかったですね。ずっと参加したかった大会だったんですが全英オープンなんかで日程が合わなかった部分もあって、こうやって参加できてよかったです。うちの娘もやっているのので話は聞いていたんですけど、これまでもいろんなところに寄贈してきたんですが、コツコツと重ねてきたものが実ってきているのかなと実感することができました。これからも続けて、後輩達にも継承していってもらいたいですし、僕らも毎年貢献していきたいと思います」。

◆貞方章男

「子ども達の真剣に取り組む姿ってやっぱりいいですね。今日は本当に楽しかったです。みんなそれぞれが一生懸命に取り組んでいるのを見て、いい刺激になったし嬉しかったです」。

◆内藤寛太郎

「初めてのスナッグゴルフでしたけど難しかったですね。飛距離でアドバンテージをとろうと思って真剣にやりました。(笑)子ども達もみんな本当に上手で、今日は参加できて楽しかったです」。

◆額賀辰徳

「経験者としての貫禄は見せつけましたよ。ジュニアが相手じゃなく、プロが相手だと思ってやっていたから。(笑)今日は楽しめましたね。サポートキッズとしてキャディが今回付いてくれたので、待っている間なんかも話をしたりして楽しくできました」。



◆大槻智春

「子ども達が本当に上手でびっくりしました。飛ばすのは簡単なんですけど、その次のショットが難しかったですね。でも本当に色々と交流しながらできて楽しかったです」。

◆堀川未来夢

「すごく楽しかったです。最初はもちろん負けるはずはないと思っていたんですけど、こんなにレベルが高いとは思わなかったです。みんな真剣に取り組んでいて一緒にやれて楽しかったです。真剣にやっていると悔しいですよ。(笑)」。



<<第 18 回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 西郷村成績>>

『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リシヤールミル基金』

第 18 回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 西郷村

グランディ那須白河ゴルフクラブ NASU コース 9 ホール 507 ヤード パー36

★優勝 常陸大宮市立大宮小学校(茨城県)76 ストローク

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 2位 千歳市立千歳第二小学校(北海道)79 | 3位 笠間市立北川根小学校(茨城県)79 |
| 4位 笠間市立友部小学校(茨城県)80 | 5位 多古町立多古第一小学校(千葉県)81 |
| 6位 笠間市立穴戸小学校(茨城県)82 | 7位 西郷村立米小学校(福島県)86 |
| 8位 笠間市立岩間第二小学校(茨城県)87 | 9位 西郷村立川谷小学校(福島県)88 |
| 10位 笠間市立岩間第三小学校(茨城県)90 | 11位 大崎市立鬼首小学校(宮城県)91 |
| 12位 常陸大宮市立大宮西小学校(茨城県)92 | 13位 印西市立原小学校(千葉県)93 |
| 14位 常陸大宮市立山方小学校(茨城県)94 | 15位 西郷村立小田倉小学校(福島県)95 |
| 16位 多古町立久賀小学校(千葉県)98 | 17位 常陸大宮市立緒川小学校(茨城県)115 |
| 18位 つくばみらい市立富士見ヶ丘小学校(茨城県)116 | 19位 御殿場市立富士岡小学校(静岡県)116 |
| 20位 つくばみらい市立小絹小学校(茨城県)121 | 21位 阿見町立阿見第二小学校(茨城県)131 |

☆JGTO ドリームチーム 72

●ベストスコア賞

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 赤コース 24 ストローク 12 アンダー | 青コース 25 ストローク 11 アンダー |
| 佐久間大魁(常陸大宮市立大宮小学校 6 年生) | 山中奏良(笠間市立穴戸小学校 6 年生) |
| 大川原伊吹(西郷村立米小学校 6 年生) | |
| 山口令愛(千歳市立千歳第二小学校 6 年生) | |

☆JGTO ドリームチーム 額賀辰徳 23 ストローク 13 アンダー

●アルバトロス賞

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 青コース 7 番 83Y 倉橋大虎(常陸大宮市立山方小学校 6 年生) | 深澤大悟(笠間市立穴戸小学校 4 年生) |
| 赤コース 7 番 83Y 新井志穂(西郷村立川谷小学校 6 年生) | |

●ホールインワン賞

- | | |
|--------------------------------------|----------------------|
| 青コース 2 番 20Y 加倉井勇真(笠間市立友部小学校 5 年生) | |
| 青コース 8 番 17Y 小室拓也(常陸大宮市立大宮小学校 6 年生) | |
| 赤コース 2 番 20Y 高木彩葉(つくばみらい市立小絹小学校 6 年) | 所秀将(多古町立多古第一小学校 5 年) |
| 赤コース 5 番 23Y 大川原伊吹(西郷村立米小学校 6 年生) | 堀川未来夢(JGTO ドリームチーム) |
| 赤コース 8 番 17Y 額賀辰徳(JGTO ドリームチーム) | |

社会科見学会を実施<スナッグゴルフ全国大会>

<https://www.jgto.org/pc/OtherTopicsDetail.do?year=2021&tournakbnCd=0&conferenceCd=000&languageKbn=0&administerNo=849>

『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リサーチ・ミル基金』第18回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 西郷村は、天候に恵まれて盛大に開催され、その翌日には、ランチャーをペンとノートに持ち替えての、社会学習見学が行われた。



福島県田村郡三春町の「コミュタン福島」は、東日本大震災の教訓を学ぶ施設として作られた、「環境創造センター」内にある教育施設である。福島の実況や現状、放射能に関する正確な情報などを、見て実際に体験して学べる。



あの未曾有の大地震が、とりわけ福島の方々から何を奪い去っていったのか。そして、そこから懸命に立ち直ろうと奮闘される中で、これから何を指しておられるのか。原子力だけに頼らない新しい福島を作ろうとするみなさんの取り組みを、肌で感じることが出来る。

放射能は、目に見えないから余計に怖い。だからこそ、福島第一原子力発電所の事故のあとさまざまな情報が飛び交い、あちこちで風評被害が起きたのだがこの施設では、そんな放射能を霧状にして、実際に肉眼で見えるようにしたり、線量を数値化して示したり、ゲームを通してその仕組みを学べたりと、子どもたちにも大変分かりやすい教材に溢れている。

「環境創造シアター」では球体型スクリーン全面に 360 度の映像を映し出す「全天球映像システム」で鑑賞した福島の大自然の、なんとまあ迫力だったこと！

またコーヒーやきざみ昆布に減塩しお、お茶や肥料、湯の華や食塩など各製品に含まれる放射能の量が実際に検査できる精密機械も完備しており、みんな興味津々。

楽しかった 2 日間もあっという間に過ぎて、最寄りの郡山駅に向かう帰路のバスはすっかり緊張も解けて、打ち解け合う子どもたちの明るい笑い声に溢れた。



スナッグゴルフ大会の会場が東北に移った 2013 年からは、試合の翌日に、こうして社会科見学会を開いて、みんなで震災や防災について学ぶことが恒例となっている。

「コミュタン福島」には 2011 年の 3 月 11 日を起点に、動き出した復興時計が刻々と時を刻んでいる。

●製作物・掲出物・ご提供商品



- 株式会社TSI: ジャックバニー・キャップ
- ハウス食品: 「めざまるカラダ朝カレー」
- JA 福島中央会: 炊飯米・会津産コシヒカリ、福島県産モモ・伊達市・伊達郡産「ふくあかり」1箱6個入り、JA グループの食と農をすすめる子ども雑誌「ちやぐりん」
- 西郷村: 新・雪割橋完成祝箸、鹿島神社にてお祓いした鉄木で作られたお箸、あぶくまの源流・雪割りの水、ニシゴージュ・クッキー
- ジャパンゴルフツアー選手会: ミネラルウォーター「ふじざくら命水」1,200 本



【公益財団法人ベルマーク教育助成財団】
ホームページ

<ベルマーク新聞>

<https://www.bellmark.or.jp/foundation/30004778/>

【福島民報 2021年7月18日・朝刊】

米小(西郷) 7位



優勝を目指しプレーする選手

スナッグゴルフ JGT O杯全国大会
第18回スナッグゴルフ
対抗戦JGT Oカップ全
国大会は17日、西郷村の
グランディ那須白河ゴルフ
クラブNASUコース
で開かれ、県勢の最高順
位は米小(西郷村)の7
位だった。
(30面に関連記事)

区の小学校21校から10
8人が出場した。各校3
〜6人のチームで9ホー
ルをプレーし、上位3人
の合計スコアで競った。
宮里優作や内藤寛太郎
(日大東北高出身)ら6
人のプロと一緒にラウン
ドし、児童にトップレベ
ルの技術を披露した。
西日本地区は十一月に
兵庫県で開かれる予定。
◇順位①大宮小(茨城)
76②千歳二小(北海道)③
北川根小(茨城)④米小(西
郷村)⑤川谷小(同)⑥小
田倉小(同)
◇ベストスコア賞▽赤こ
いすい佐久間大魁(茨城・
大宮小) 大川原伊吹(西郷
・米小) 山口令愛(北海道
・千歳二小)▽青コース▽
山中泰良(茨城・六戸小)



会津コシヒカリを使ったカレーライ
スを受け取る選手(右)＝西郷村

スナッグゴルフ全国大会 カレーライスに 会津コシヒカリ

西郷村の
グランディ
那須白河ゴルフクラブ
NASUコースで開か
れた第十八回スナッグ
ゴルフ対抗戦JGT O
カップ全国大会では、
出場した小学生、引率
の保護者らの昼食とし
て振る舞われたカレー
ライスに、会津コシヒ

J A福島ファーマー産産・海産物販売フェ
ス・マーケット連絡協「ア」は県内のJA直売
議会との共催による 所十二店舗で十七、十
「知って応援」県産農産物の両日行われてい
証を受けた県産のキ

きょうまでフェア

12直売所
店舗

県産農畜産物安全PR

ユリやトマト、福島
牛などを販売してい
る。初日はメヒカリや
サンマの加工品も並
び、買い物客が商品
を吟味して手に取っ
ていた。

J Aグループ福島 各地でイベント

東京五輪開幕を前
に、JAグループ福島
は十七日、県内各地で
県産農畜産物などの安
全性や魅力を発信する
取り組みを展開した。
東京電力福島第一原発
事故に伴う本県への風
評払拭(ふっしょく)
に向け、スポーツイベ
ント参加者への県産食
材提供でおいしさを直
接伝えたほか、東京五
輪・パラリンピック開
催決定を機に推進して
きた農産物安全認証制
度「GAP」の理解浸
透に努めた。



県産の農産物を手に取る買い物客＝郡山市・愛情館

JGTOキッズゴルフ応援プロジェクト



リシャールミルジャパン基金

特別協賛

TSI Inc. 株式会社TSI

 DELIGHT WORKS デイライトワークス株式会社

助成



公益財団法人 ジュニアゴルファー育成財団

協賛・寄付

※五十音順

株式会社インプレッション／栄和リサイクル株式会社
株式会社キヌガワプランニングオフィス／株式会社コーベヤ(稲田三郎)
秀明印刷株式会社／JA福島中央会／スナッグゴルフジャパン／総合リゾートライフ株式会社
株式会社テクノクラフト／株式会社ドゥ・ハウス／株式会社ニューカルチャーラボ
弁護士 中野辰久(東京弁護士会)／日本スナッグゴルフ協会／西郷村
ハウス食品株式会社／医療法人ひまわりこどもクリニック
株式会社プラグインプロダクツ／株式会社フレンド企画／富士産業株式会社
株式会社プレジャー／松永カントリークラブ(備南観光開発株式会社)
ブライシス株式会社／株式会社リンク

支援プロゴルファー

青木 功	中嶋 常幸	倉本 昌弘	谷口 徹
藤田 寛之	宮本 勝昌	谷原 秀人	小田 孔明
池田 勇太	石川 遼	川村 昌弘	上井 邦裕
宮里 優作	浅地 洋佑	重永 亜斗夢	小平 智
塚田 陽亮	稲森 佑貴	額賀 辰徳	竹谷 佳孝
小鯛 竜也	出水田 大二郎	比嘉 一貴	木下 稜介
時松 隆光	星野 陸也	大槻 智春	貞方 章男
内藤 寛太郎	堀川 未来夢	片岡 尚之	金谷 拓実

第18回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会in西郷村の開催にあたりご支援を頂き厚く御礼申し上げます。